

令和元年度庄原市情報教育研修会

令和元年8月22日(木) 14:00~16:35 庄原小学校パソコン教室

小学校のプログラミング教育の進め方について理解するとともに、児童にプログラミング的思考を身に付けさせる授業づくりについて理解することを目的に研修会を行いました。

【講話】「小学校プログラミング教育の進め方」

庄原市教育委員会 指導主事 伊澤 知弥

■小学校にプログラミング教育が導入される背景や、新学習指導要領におけるプログラミング教育の考え方、プログラミング教育で育む資質・能力などについて講話を行いました。



【講義・演習】広島県立教育センター サテライト研修講座

「教育の情報化 『はじめよう！小学校のプログラミング教育』」

広島県立教育センター 教育情報部 指導主事 久永 剛

■プログラミング言語の「Scratch (スクラッチ)」を使い、実際にパソコンを操作しながら、プログラミングを体験しました。そして授業でどのように活用していくかについて理解を深めました。



【参加者の感想等】

- ◆どのような背景でプログラミング教育が導入されたのか、子供たちにどんな力を身に付けさせていくのかを明確にできたので、校内で共有していきたい。
- ◆コンピュータは便利で、子供たちにとっても身近なものではあるが、その仕組みまでは理解していない。これから Society5.0 の時代が到来するが、コンピュータと上手く付き合っていくための学習に取り組みたい。
- ◆プログラミングを体験することで、「思いつき・当てずっぽう」ではなく、「論理的に考えていく力」を育成していくことの必要性が理解できた。
- ◆授業ではプログラミングをすることが目的とならず、各教科のねらいをより達成させるための一つのツールとして活用していきたい。
- ◆スクラッチを使ってみて、思ったより難しくないと感じた。校内研修でも実際に操作して体験していく必要があると感じた。
- ◆プログラミング教育は難しいと思っていたが、今日の研修で少しできそうだと感じる事ができた。その他の実践事例からしっかりと学び、具体的なイメージをもちたい。